

労働条件は
安全を支える基盤

航空連ニュース

航空労組連絡会
大田区羽田 5-11-4 フェニックスビル
Tel 03-3742-3251
Fax 03-5737-7819
No.1047(38-5) 2024年2月24日

昨年以上の賃上げ当然 大幅な賃上げで生活守ろう



春闘の賃上げ交渉が本格化しています。航空連傘下の労働組合では、賃上げや諸手当引上げ等の要求書を提出し、3月1日の回答指定日に向けた労使交渉が進められています。羽田空港での航空機事故を踏まえた安全要求や60歳以降のシニアの労働条件引き上げ、乗員養成や人員増、勤務改善などの要求前進をめざします。

また全日空では、23年度の業績見通しの上方修正とあわせ期末一時金が示されました。23年度決算で営業利益1900億円を達成した場合に3カ月を支給（支給日6月3日）としています。

航空では、好調な旅客需要の回復を受けて、各社の第3四半期決算は好業績を上げています。国際線旅客はコロナ前の2019年まで回復していませんが、業績の通期見通しでは2019年を上回る勢いです。日々の安全運航を支える職場のがんばりに満額で答えることは可能です

グラハン、契約引き上げ大幅賃上げを

人手不足が深刻なグランドハンドリング。グラハンの人手不足により、航空会社は供給量を制約せざるを得ない状況が生まれています。人材確保に向け国交省が設置した有識者による「検討会」は、人材確保や職場環境の改善に向け、賃上げの原資となる受託料の引き上げを提言しました。航空連の調べによると、JALやANAでは受託料を引き上げていることが分かっていますが、2次委託先など含めたグラハン労働者全体の賃金を引き上げ、退職に歯止めをかけ定着化につなげるには十分とはいえません。思い切った賃上げと、労働条件の根本的な見直しで人材確保につなげる必要があります。

ホンダ・マツダ高水準ベア回答

自動車産業では、連合の3月中旬の集中回答日を待たず、ホンダやマツダ、ヤマハ発動機では、労働組合の提出していた賃上げと一時金（ボーナス）の要求に満額で回答しました。ホンダはベースアップ1万3500円+（人への投資）1500円+定昇=2万1500円。ホンダの副社長は「これまでの職場のがんばりに報いた」と述べています。マツダもベア+定昇で1万6000円の満額回答。ヤマハ発動機では、ベア1万1千円+定昇=1万7400円の満額回答です。

以上